

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	福島区
学 校 名	海老江東小学校
学校長名	三枝 由佳里

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・海老江東学校では、第6学年47名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の平均正答率は、大阪市平均を4ポイント、全国平均を2.3ポイント上回っている。領域別では、ほとんどの領域で大阪市・全国平均を0～8ポイント上回っているが、特に「読むこと」において、全国平均を約6.8ポイント、市平均を7.4ポイント上回っている。

算数の平均正答率は、大阪市平均を2ポイント、全国平均を3.4ポイント下回っている。領域別では、数と計算、図形、データの活用の領域で大阪市・全国平均を0～4ポイント下回っているが、変化と関係の領域では、大阪市を1.4ポイント、全国平均を0.5ポイント上回っている。

無解答率(問題に解答していない割合)は国語、算数とも全国平均より、国語で2.6ポイント、算数で2.3ポイント低い値となっており、粘り強く問題に取り組んでいることがわかる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

本校は、この5年間、国語科を中心に「主体的対話的で深い学び」をめざし、校内研究に取り組んできた。

〔国語〕「読む、聞く、話す」などの事項だけでなく、昨年度課題が見られた「書くこと」の領域でも成果が表れてきている。一方で、「情報の扱いに関する事項」については課題が見られた。今後は、説明的な文章に出てくる図や表が叙述とどのようにつながっているのかを読み取る中で力をつけていく必要がある。

〔算数〕少人数指導や習熟度別少人数指導、「主体的・対話的で深い学び」をめざす指導を進めてきた。「変化と関係」の領域では、その成果が表れてきている。しかしながら、「数と計算」「図形」「データの活用の領域」に課題が見られた。今後は、授業において、身の回りの形から図形を捉え、図形を構成する要素を見出したり、身近な場面から興味や気づきをから生じた疑問を解決できるような問題場面を設定したりしながら、既習事項と関連付けながら考え方・解き方を交流するなどの指導の工夫が必要である。

質問調査より

早寝早起き朝ご飯などの基本的な生活習慣の定着について、本校のこれまでの取組と家庭との連携の効果が表れていると考える。

次に、児童と先生との関係では、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」などの設問で児童の肯定的な回答の割合が高く、臨床心理士を招聘しての児童理解の研修会や教職員間での情報共有、日常の学級づくり、校内研究における授業力向上の取組みなどの成果が表れていると考える。

課題としては、「友だち関係に満足していますか」「人が困っているときに助ける」等の項目の肯定的な回答の割合が増加し、一定の成果が見られるが、より良質な仲間関係構築に向け、さらなる取組が必要である。

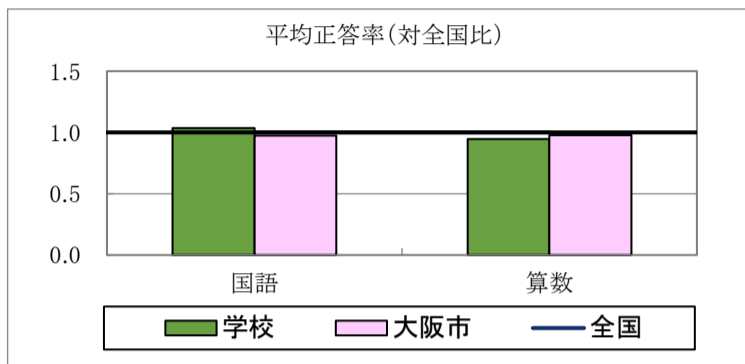
今後の取組(アクションプラン)

- ①理科や算数などにおいて、生活身近な場面から興味や気づきをから生じた疑問を解決できるような問題場面を設定する。
- ②ICT機器を効果的に活用し、主体的で対話的な学びを推進する。
- ③1人1台PC、デジタル教科書、デジタルドリルをフルに活用し、児童が興味関心を高め、ICT機器を活用した授業や個別最適化を目標とした学習の指導方法を研究する。
- ④これまで取り組んできた自主学習習慣の定着に向けた取組をさらに充実させる。
- ⑤一問多答となる発問など「主体的対話的で深い学び」の学習指導を多く取り入れる。
- ⑥複数の資料について根拠を明らかにしながら自分の考えを発表し深め合う学習場面を設定する。
- ⑦総合的な学習や体験的な学習で、自分で課題を見つけ探求し解決する学習の機会を設定し、達成感や成就感を味わうことができる機会を増加させる。

【 全体の概要 】

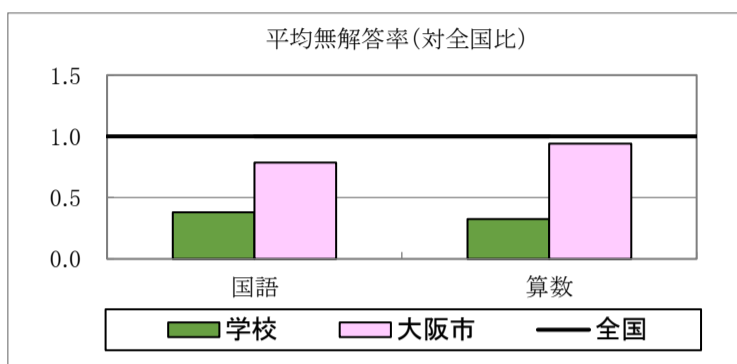
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	70	60
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	1.6	1.1
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



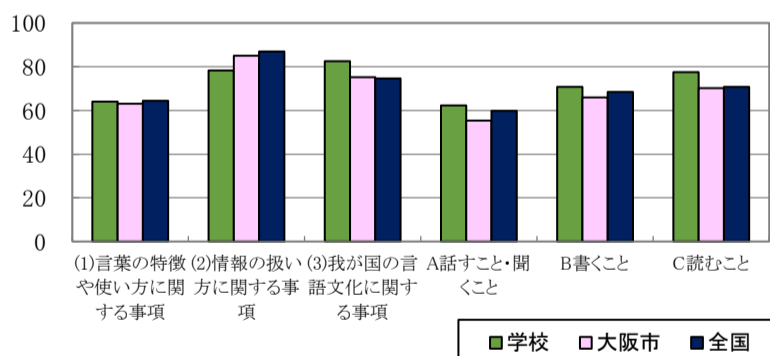
【 国語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	64.1	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に関する事項	1	78.3	85.0	86.9
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	82.6	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	62.3	55.3	59.8
B 書くこと	2	70.7	65.9	68.4
C 読むこと	3	77.5	70.1	70.7

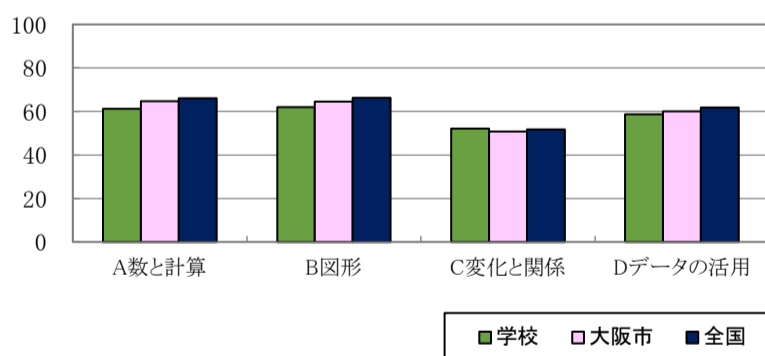
【 算数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	61.2	64.8	66.0
B 図形	4	62.0	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	52.2	50.8	51.7
D データの活用	4	58.7	60.0	61.8

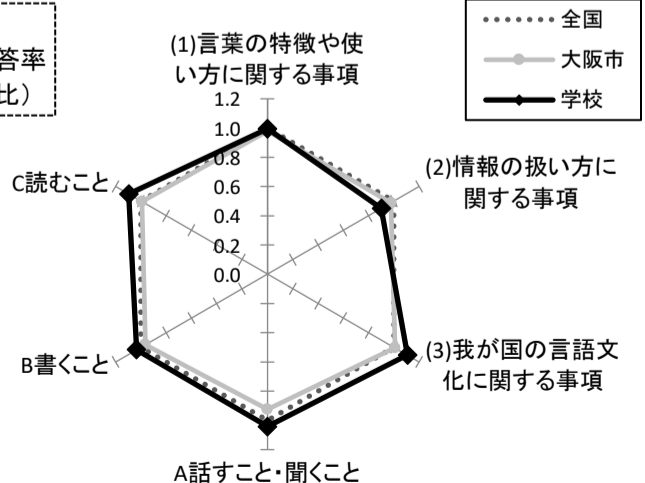
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



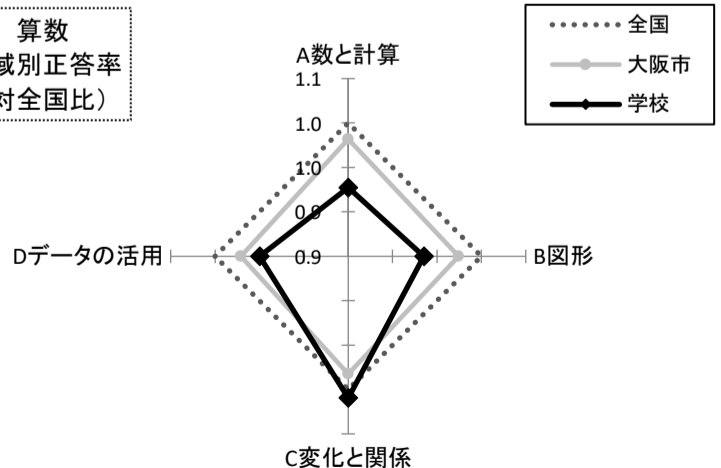
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)



算数
領域別正答率
(対全国比)

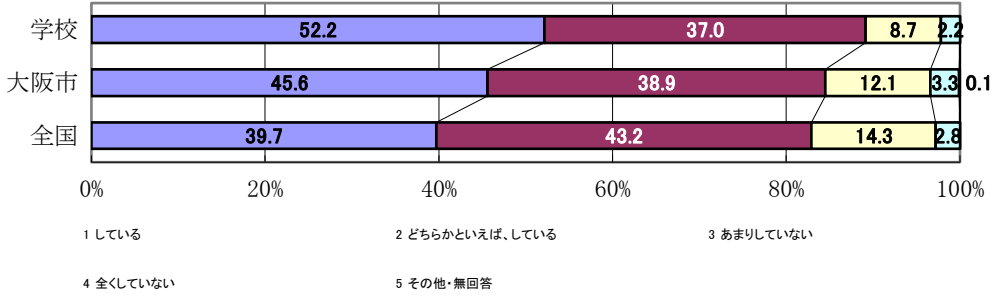


児童質問より

質問番号
質問事項

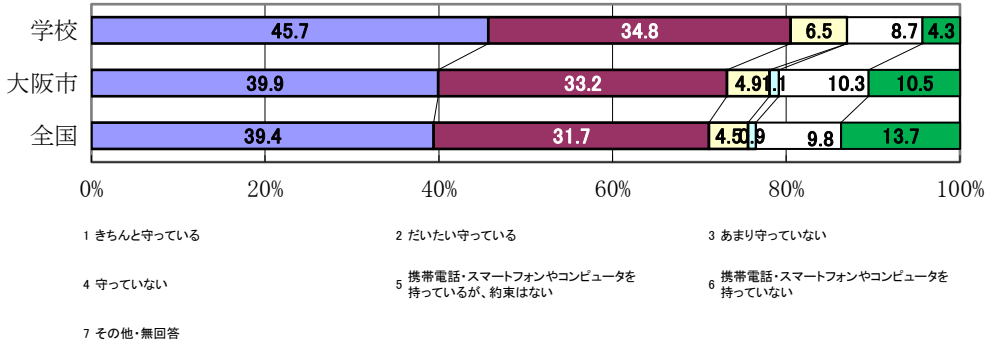
2

毎日、同じくらいの時刻に寝て
いますか



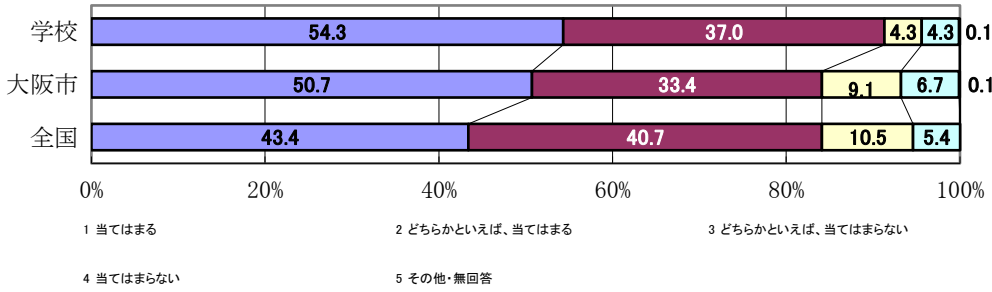
7

携帯電話・スマートフォンやコ
ンピュータの使い方につい
て、家の人と約束したことを
守っていますか



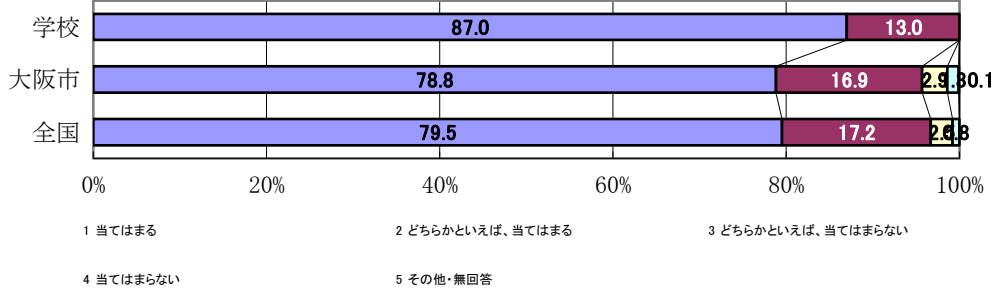
9

自分には、よいところがあると
思いますか



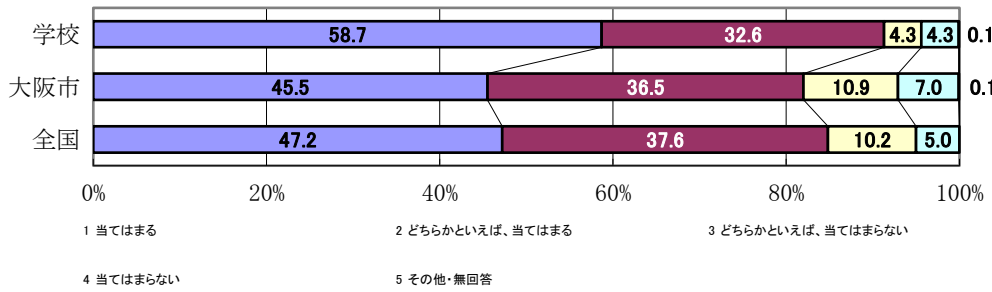
13

いじめは、どんな理由があつて
もいけないことだと思いますか



16

学校に行くのは楽しいと思
いますか



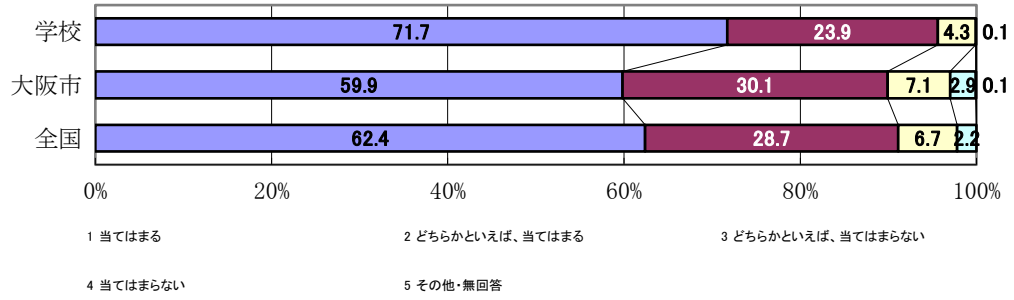
児童質問より

質問番号

質問事項

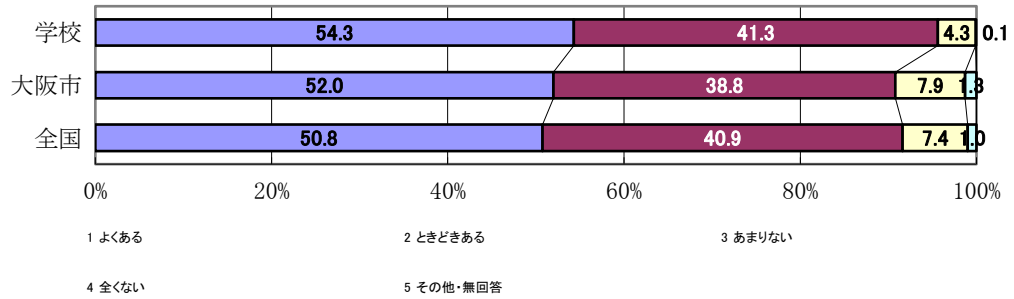
18

友達関係に満足していますか



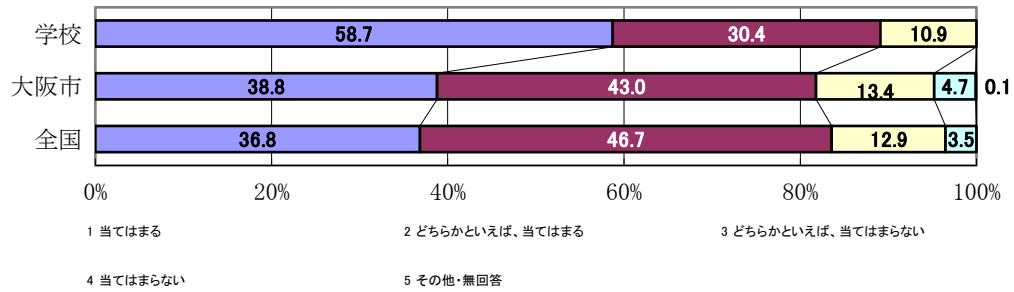
19

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



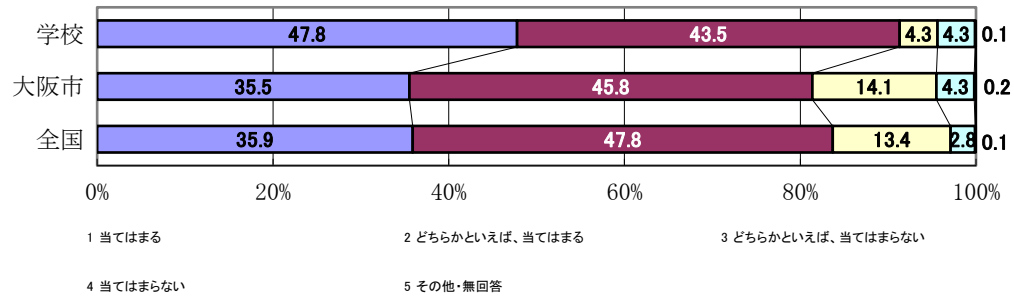
25

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



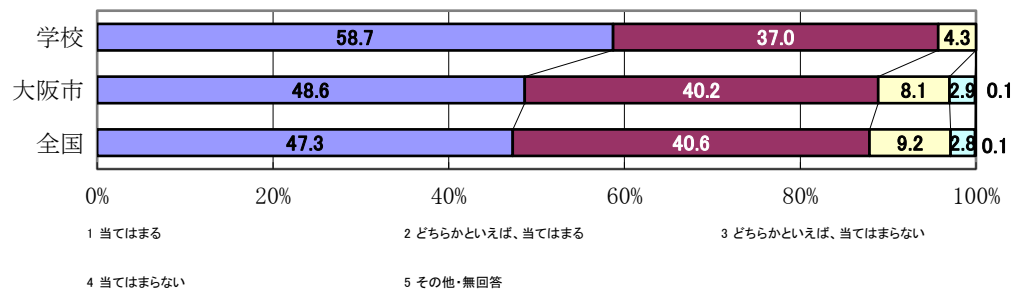
35

授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか



36

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



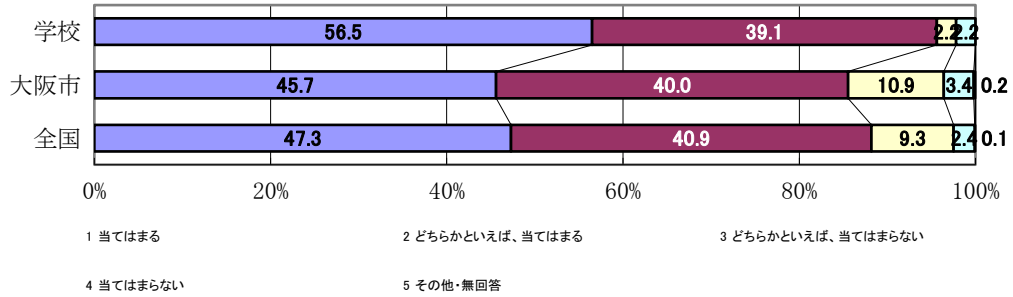
児童質問より

質問番号

質問事項

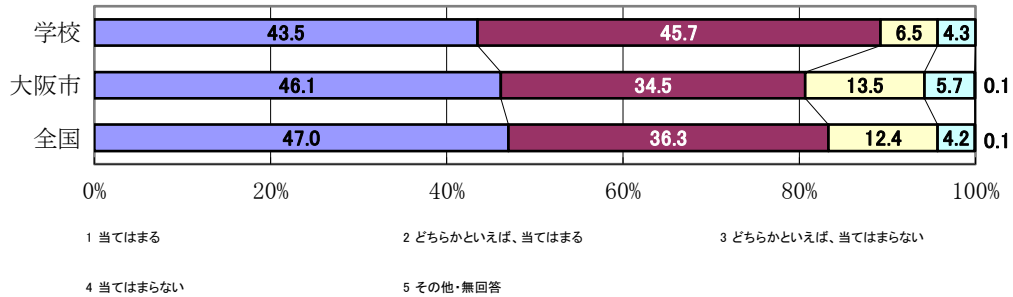
41

道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



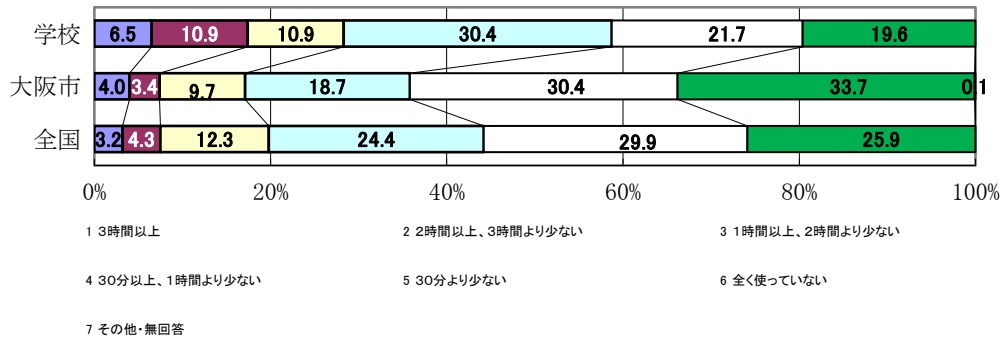
55

算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



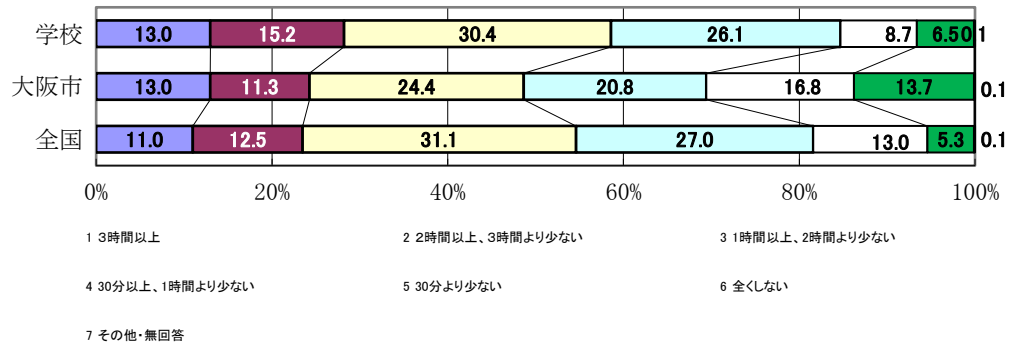
4

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)



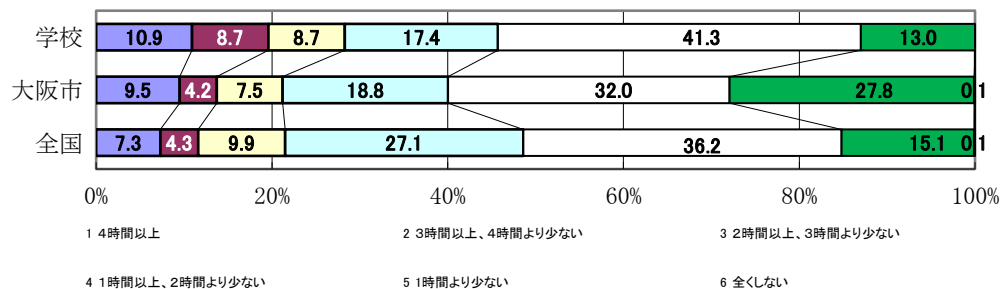
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



22

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



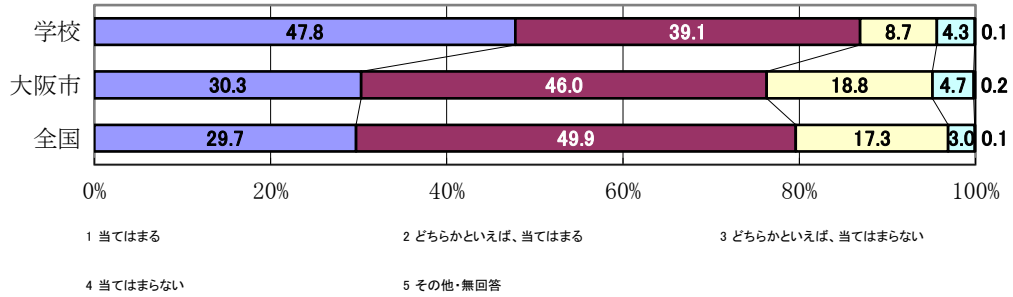
児童質問より

質問番号

質問事項

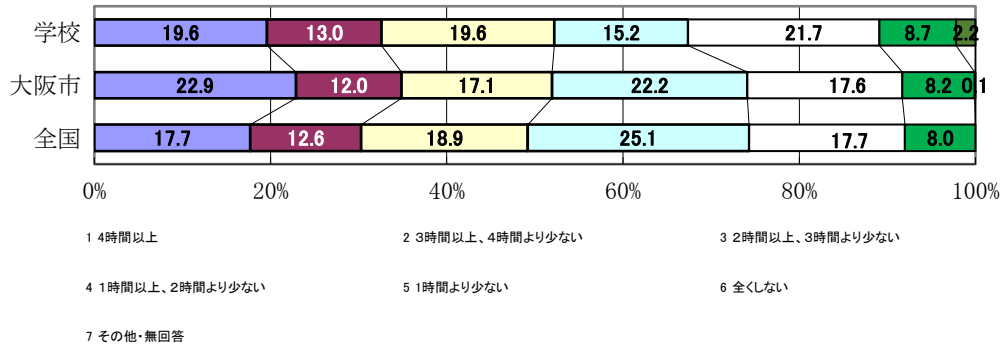
31

5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



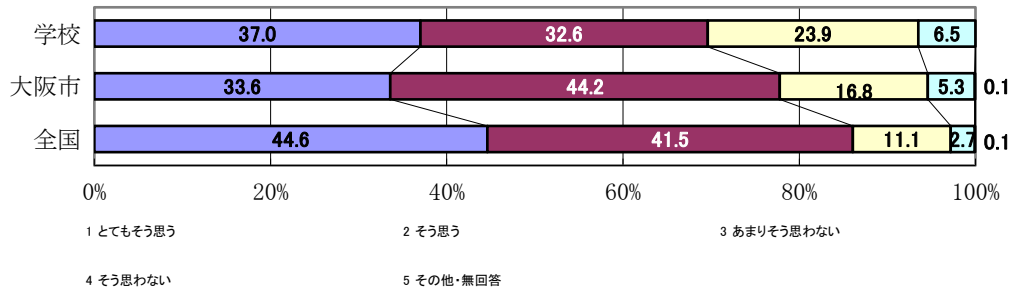
5

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



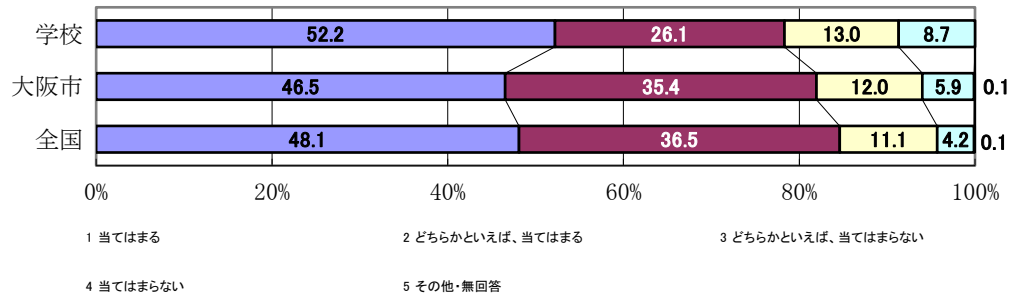
73

(5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。)友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる



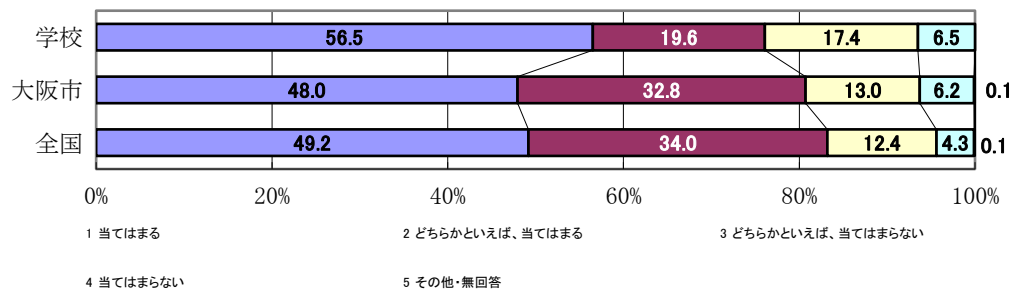
57

算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか



59

自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがありますか



学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

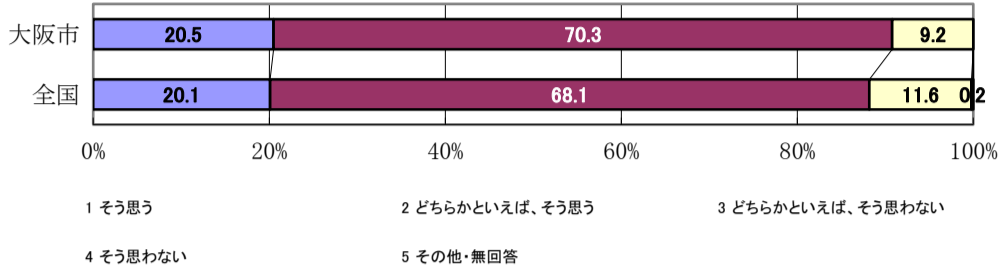
質問番号

質問事項

25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

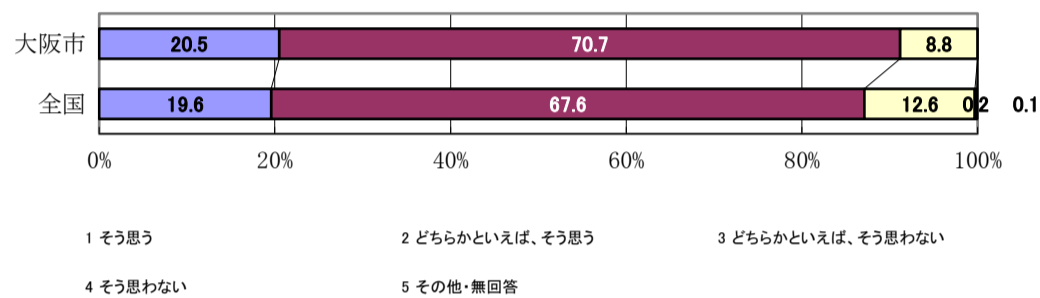
学校 「そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

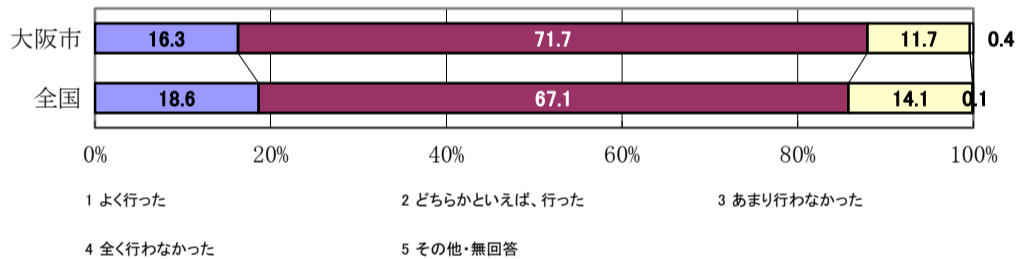
学校 「そう思う」を選択



35

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか

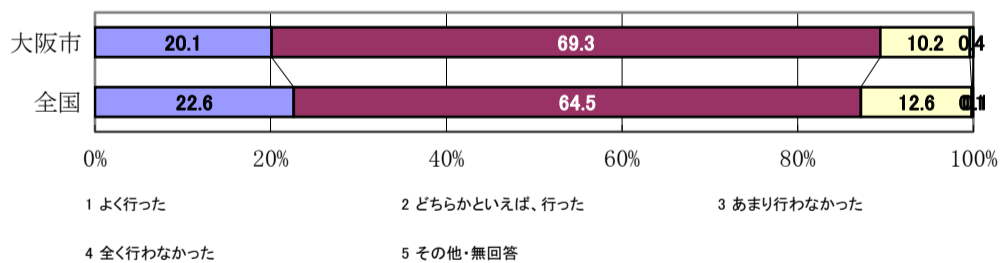
学校 「よく行った」を選択



40

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ計画的な取組を行いましたか

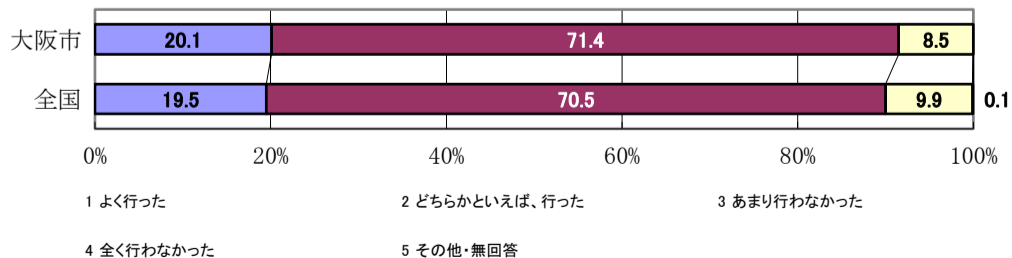
学校 「よく行った」を選択



41

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるような指導を行いましたか

学校 「よく行った」を選択



学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

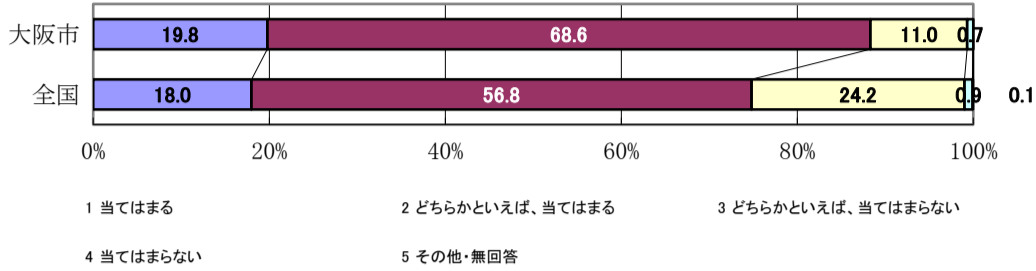
質問番号

質問事項

52

学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか

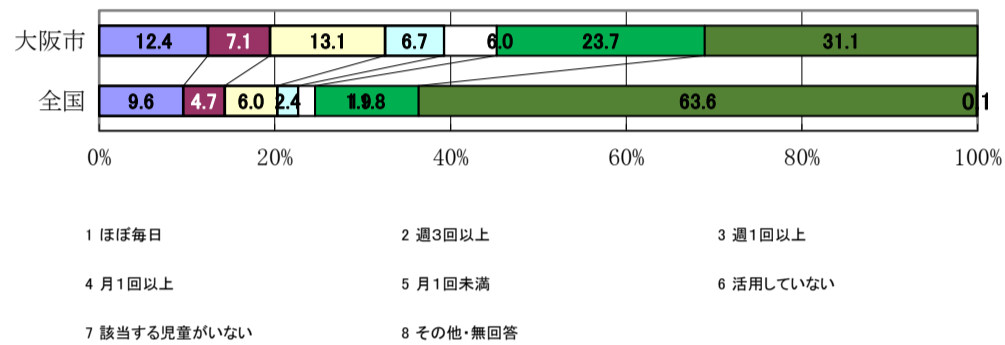
学校 「当てはまる」を選択



65_4

(児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。)外国人児童に対する学習活動等の支援

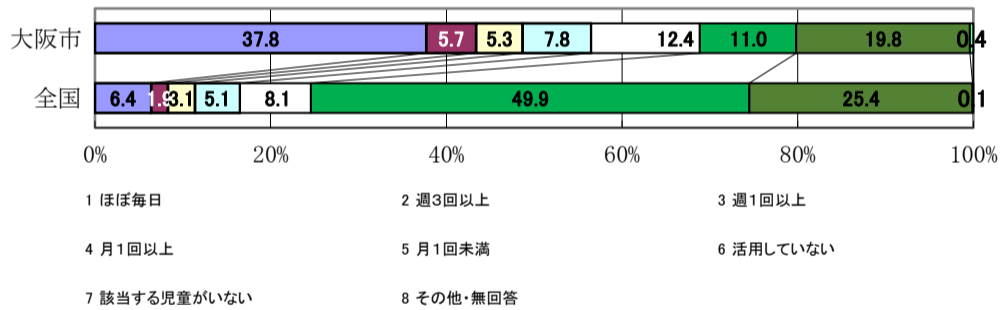
学校 「活用していない」を選択



65_6

(児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。)児童に対するオンラインを活用した相談・支援

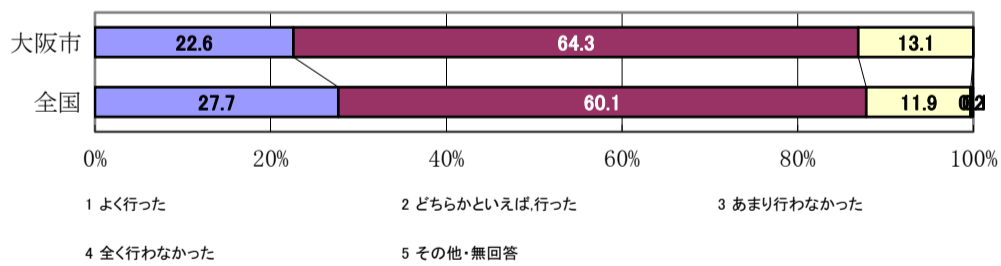
学校 「ほぼ毎日」を選択



73

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校では、児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか

学校 「よく行った」を選択



学校 「」を選択

